

第 38 回支援連絡調整会議 議事録

日 時：2016 年 8 月 23 日(火) 10:00~12:00
場 所：陸前高田市コミュニティホール 中会議室
出席者：19 団体 26 名
文 責：種坂（事務局）

1. 事務局連絡（10:00~10:05）

➤ 定点観測写真の「TIME-EYES」への提供について

一般社団法人ドリームプロジェクトが7月に携帯アプリ「TIME-EYES」をリリース。市内の情報を地図上で見ることができるもの。震災前から現在までの写真を見ることができ、プラットフォーム Facebook ページで公開の定点観測写真を提供。今後も提供する予定。

➤ PF への相談 2 件の共有（東北復興マラソン、中心市街地企画委員会）

・東北復興マラソン：オープンハートの会 古市様より。陸前高田市内で日本初の制限時間がないフルマラソン開催を検討。ガン患者がホノルルマラソンを走り元気になっていることから着想した。ホノルルでは、地域の人がマラソンを応援し、地域活性化にもなっている。陸前高田市やアディダスにも相談している。一緒に運営してくれる団体を募集中。

・中心市街地企画委員会：陸前高田商工会の公開連続勉強会の案内。市民や NPO にもぜひまちづくりに参加してほしいという商業者の想いがあって開催している。

《公開連続勉強会の今後の予定》

○9/15（木）14:00~17:00「下町レトロに首っ丈の会」

○9/17（土）14:30~16:30「まちゼミ」

2. 活動報告（全体）（10:05~10:50）

- ・各団体より7月以降の活動報告、協力依頼およびイベント告知など。
- ・質問あれば適宜。各団体2分程度で報告。

※以下発表順、発表者敬称略に記載

※発表の順番は第38回支援連絡調整会議参加者名簿に準ずる。番号は名簿の番号を記載。

◆活動報告

1	もっちいと森の仲間たち／望月	・花巻から基本的に火/水曜日に通って花壇や土いじり支援。 ・8/7~10 近畿大学学生のコーディネート。矢作町の仮設住宅で花壇整備の支援と交流・けんか七夕祭りの見学など。市外は気仙沼/大船渡/遠野/花巻/一関を案内。
---	----------------	---

		<ul style="list-style-type: none"> ・次は8月末～9月頭にかけて福岡の大学生が来る予定。
2	高田大隅つどいの丘 商店街／山本	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みということもあり、商店街の飲食店に研修/視察を兼ねた食事利用が多い。ぜひ利用いただきたい。 ・木製のやぐらを無償提供する先を募集中。
3～4	陸前高田市復興支援 連絡会／佐藤	<ul style="list-style-type: none"> ・7/17 未来商店街で本マグロ解体ショー。200食完売。コミュニティ構築を目的に開催し、住宅が離れ離れになった住民同士の再会も実現した。 ・大野の災害公営住宅でお茶会を始める予定。
5	いわて生活協同組合 ／池田	<ul style="list-style-type: none"> ・7/30 子ども対象バスボランティア。ヤルキタウンで花壇整備。午後は高田のまちなかを視察。 ・8/20 関西の生協からバスボランティア。 ・9/11 大船渡盛でけせんコープ生協まつりを開催。 ・7月に熊本益城町生協ボラの運営支援を行った。まだまだ大変な状況。
6	NPO 法人ハマトラ 横 浜フットボールネッ トワーク／篠原	<ul style="list-style-type: none"> ・6月横田で子どもフットサル・青空お茶っこ会を実施。横浜から大学生含め11名。地元の子ども23名が参加。 ・日産スタジアムで横浜F・マリノスの試合の際、復興支援リストバンドを販売している。売上げを陸前高田市小中学校復興基金へ寄付（今回で6回目）。今後も継続する予定。
7	認定 NPO 法人 遠野山 里暮らしネットワー ク／林	<ul style="list-style-type: none"> ・柳沢前、下和野の各災害公営住宅で植樹交流会。 ・遠野に民泊に来た子どもたちを連れて被災地視察。 ・法政大学ボランティアのコーディネート。 ・8/14 気仙川花火大会で模擬店出店。 ・8/24 盛岡での「いわて食の大商談会」に関西からのバイヤーと参加し、商業者と交流予定。
8～ 11	大船渡地域復興セン ター／高橋・鈴木	<ul style="list-style-type: none"> ・被災者相談支援センター：8月の相談件数（8/19時点）は、相談員対応43件。うち住宅に関する相談が31件で、災害公営住宅や住宅再建の支援制度に関する相談が増えている。専門家対応は4件。弁護士・司法書士・ファイナンシャルプランナーによる相談受付をしているが、ファイナンシャルプランナーは0件。家計を見て個別の住宅再建を考えることができるので積極的に利用してほしい。 ・復興推進課：8/6に高田松原の現場見学会を実施（2回開催）。参加者78名。砂浜再生試験実施の状況も見てもらった。9月大学生向け見学会実施（参加募集中）。10月大船渡工事現場見学会。11月陸前高田工事現場見学を予定。 ・観光担当より：国体開催期間中のステージイベントに出演

		する団体を募集中。地域の方に声掛けをしてほしい。
12	NPO 法人 りくカフェ ／齊藤	<ul style="list-style-type: none"> ・8/27「高田の昔がたりの会」を実施予定。地元の人が昔の話をする会で、毎回30～40名参加で好評。 ・9/6 慶応大学アカペラサークルのコンサート。 ・9/28～「スマートクラブ」全7回開催の募集を開始。声掛けをお願いしたい。
13	国立大学法人 岩手大学 三陸復興・地域創 生推進機構／佐々木	<ul style="list-style-type: none"> ・心のケア班：カウンセリングや出前の研修を実施中。そろそろ市民講座を開催予定。講座内容のアイデア募集中。 ・来年2月に宮城・福島で活動している方を呼んでシンポジウムを開く予定（現在企画中）。
14	教育支援チーム「まつ」 ／佐々木	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校の先生や子どもたちの支援や、不登校の子どもたちのフリースペース運営などの活動をしている。
15	いわて連携復興センター ／葛尾	<ul style="list-style-type: none"> ・7/29 いわて内陸被災者支援センターで「第19回内陸避難支援ネットワーク会議」開催し、12団体23名が参加。同支援センターの役割や、現在の避難者支援の状況を共有。
16～ 18	特定非営利活動法人 パクト／桑久保・山田	<ul style="list-style-type: none"> ・二又復興交流センター：市内の子どもと外国人が交流する英語キャンプが3回開催された（それぞれ別団体主催）。VISIT TAKATA 推進プロジェクトで学んだ英語表記のポップや、フリーWi-Fiの整備が役立った。 ・先週からじゃらんで「ポケモンGOで旅に出よう」プランを発売。以前のインGRES研究会の活動が功を奏して観光資源になっている。 ・サポートステーション：7月は個人91名、団体20団体530名がボランティアに参加。栃ヶ沢公営住宅内覧会で引越しボランティアの案内を社協と協力、また、復興支援連絡会に仮設住宅の情報をもらい草刈り対応も行った。その他、けんか七夕の会場・駐車場の草刈りやフラワーロード/高田松原を守る会の活動に参加。秋に向けて、防災授業の一環などで学生の参加が増える見込み。
19	陸前高田まちづくり 協働センター／三浦	<ul style="list-style-type: none"> ・8/26 高田地区市民会議を開催。高田住民への周知を協力してほしい。 ・8/27 まちづくりコーディネーター育成講座2回目《会議ファシリテーション》。参加希望があれば相談下さい。全6回で11月まで。
20～ 21	NEC ネットエスアイ (ひまわりハウス) ／村上	<ul style="list-style-type: none"> ・田崎飛鳥絵画展を開催中（今年で3回目）。今年は市内5カ所で開催。会場ごとにテーマを設けて4～7点の作品を展示しているのでぜひご覧ください。

22	NPO 法人 きらりんき っず／伊藤	<ul style="list-style-type: none"> ・高田大隅つどいの丘商店街で親子のひろば開設中。 ・7月は中高生ボランティアが2回。じゃがいも収穫と、朝日のあたる家で子供見守り/読み聞かせを行った。 ・高校の授業の一環で高校生3人を受入れ。活動の話をした。 ・昨年度8月から防災活動に取り組んでいる。6月商店街のイベントの中でも防災の企画を実施。 ・9/3に防災フェアを企画。手伝える人を募集。前日15時～準備と当日の見守りをしてほしい。8/29準備打合せ予定。
23	一般社団法人マルゴ ト陸前高田／大久保	<ul style="list-style-type: none"> ・8/11～16 一本松茶屋にて特設観光案内窓口を開設（商工観光課、SAVE TAKATA、観光物産協会、マルゴト4社共同）。一本松への行き方と、海産物が食べられる場所が主な質問で、案内不足が浮き彫りになった。 ・上記と同時に復興最前線ツアーを当日受付で実施。1日10名の定員が埋まり合計約60名が参加。今後も当日対応検討。 ・VISIT TAKATA 推進プロジェクト：通訳案内士の特区申請が通り、協働センター協力のもと、4～5人の市内在住バイリンガル（ほぼ女性）の方を対象に通訳案内士養成講座を実施予定。40時間のうち、10時間は行政職員や有識者から市の一般知識について学ぶ。この部分は一般公開予定なので、興味がある方は参加してほしい。 ・今週半ばに民泊受入家庭募集の説明会のチラシが、高田・長部・矢作・横田地区で回覧される予定。
24	NPO 法人 陸前たがだ 八起プロジェクト／ 蒲生	<ul style="list-style-type: none"> ・モビリア仮設住宅を中心に地域支援を実施中。モビリアクラブ、男の料理教室、子ども野球大会「伊藤忠カップ」の開催など。
25	NPO 法人 福祉フォー ラム・東北（朝日のあ たる家）／長友	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日のあたる家：子供から高齢者まで誰でも気軽に集える場所として開設。いきいき百歳体操・手芸・みんなでご飯・囲碁などのプログラムを実施。また、他団体との連携では、きらりんきっずのおでかけひろば、カホン教室、歌っこの会、一本松クラブなどが実施されている。 ・8/2 午前中カホン教室、15時～16時東京から合唱のコンサート。気軽に足を運んでください。
26	復興庁岩手復興局／ 越前	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、国の来年度予算を編成中。心の復興事業は、来年度から、単一市町村実施のものに関しては各市町村に相談し市町村の事業として、複数市町村にまたがるものは県を通じて実施。そのため、各自治体と方向性をすり合わせる必要となってくる。

3. 活動分野毎の討議・意見交換（グループ議論）

<1G 地域・コミュニティ>

- ・ 各団体が今後、どこでどのような活動をするのかを共有。
- ・ 仮設住宅の集約が進む中で、集会所の備品の取り扱いが課題。仮設住宅から公営住宅への引越しや自宅再建が進む中で、備品が欲しい方がいる場合の対応について議論した。備品は備え付けのものや寄贈品など、はっきり区別がついていない場合もある。広田の長洞仮設の撤去の際は、市に確認し、自治会へ直接の寄贈でも市への寄贈とみなされるとの話があった様子だが（※）、実際の対応は不明。※情報の正確性は未確認。
- ・ 自治会費も溜まっているが、最終的にどうするのか、
- ・ 備品、自治会費の対応をすべて自治会に任せると大変だが、では誰がやるのか。今後、周辺自治体の事例や情報なども共有していく。

<2G 子ども・教育／女性・子育て>

- ・ 仮設に残っている人が少なくなり、80～90 歳代の高齢独居の方の割合が増えた。その方々の生きがいづくりと、子どもたちの見守りを絡められないか。例えば、復興支援連絡会のお茶っこ会で高齢者の得意なことを見つけて、きらりんきっずの活動につなげる、というアイデアが出た。
- ・ “新しく何かを始める”というよりは、今ある取り組みに繋げていければ良い。

<3G 商工・観光・産業・その他>

- ・ 市内の商工産業活性化に 3G として何ができるか話し合った。
- ・ 課題として、市内の情報は網羅的なものが多く、個別の店舗の紹介や、観光客のニーズに合わせた提案ができていない。
- ・ 現在「高田旅ナビ」と「ミルクルリくたか」というウェブサイトがあるが、そういった既存の媒体に情報提供をして、コンテンツの充実のサポートができるのではないか。
- ・ 市外の方に陸前高田に興味を持ってもらって遊びに来てもらえるような情報発信ができれば良い。
- ・ まずは高田旅ナビを編集しているところと意見交換をし、3G で集めた情報を旅ナビに反映できないか提案する。先方が対応できるようであれば、今後情報を提供していく。

4. その他

（事務局より）

- ・ 「陸前高田商工会 公開連続勉強会」チラシの配布協力依頼。
- ・ 「東北復興マラソン 提案書」を見たい方はご連絡ください。

【次回の開催日程】

- ・ 第 39 回 支援連絡調整会議 9 月 13 日（火）10：00～12：00 ※詳細は別途連絡